

SEIFUKU  
LOVE

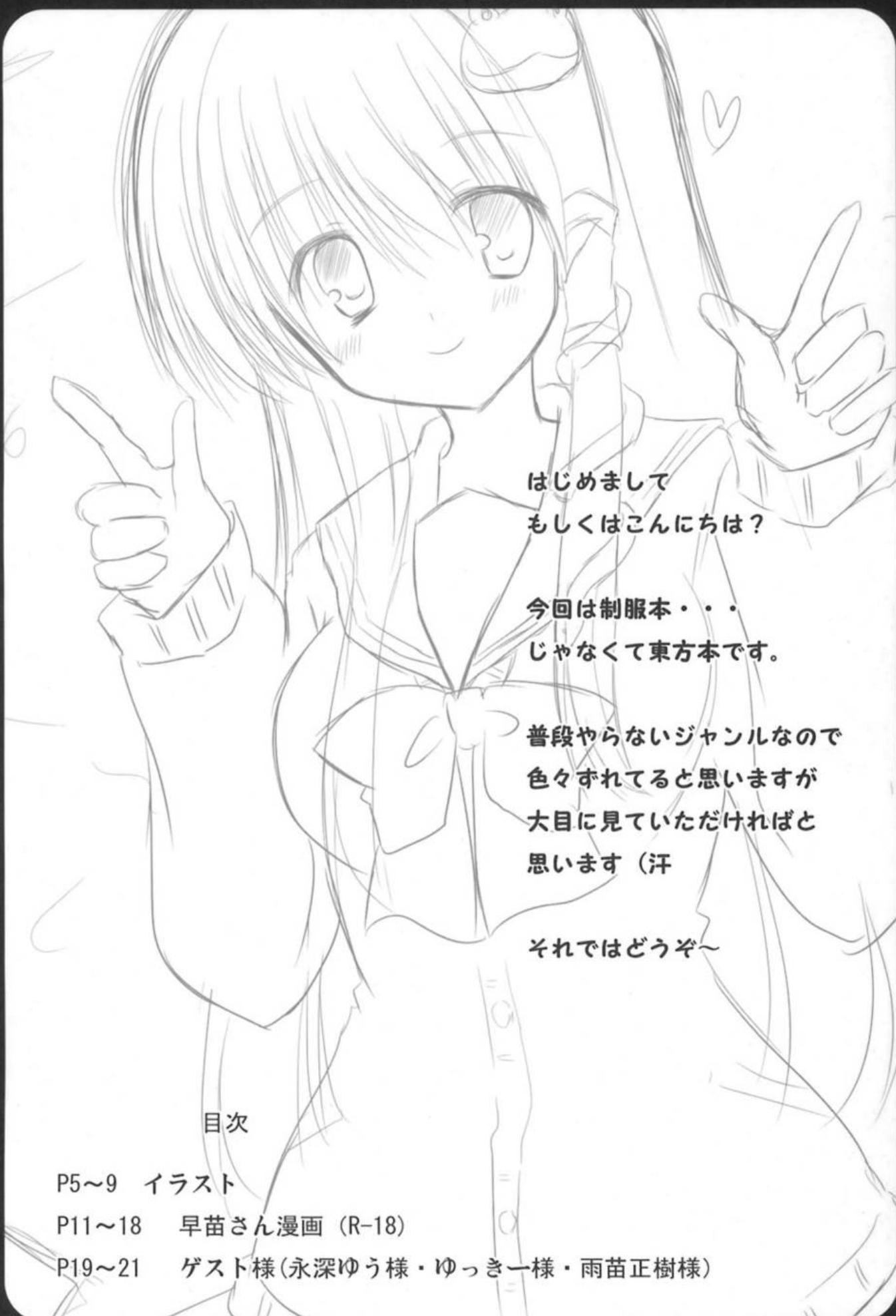
**FOR ADULT ONLY**

2009 AUTUMN  
SUISEIBOUIN PRESENTS  
TOUHOU PROJECT GEGAFUKU FANBOOK





I LOVE  
SEIFUKU.



はじめまして  
もしくはこんにちは？

今回は制服本・・・  
じゃなくて東方本です。

普段やらないジャンルなので  
色々ずれてると思いますが  
大目に見ていただければと  
思います（汗）

それではどうぞ～

目次

P5~9 イラスト

P11~18 早苗さん漫画 (R-18)

P19~21 ゲスト様(永深ゆう様・ゆっきー様・雨苗正樹様)



フレサー制服夢です。

この絵を使ってステイックポスター

作る予定だったんですけど

諸々の事情により無しに（え

フレサーは素晴らしいよフレサー！



フレサーにネクタイ！  
更にチェックのスカート！  
更に更にニーソ追加！  
もいつちょおまけに帽子だ！

な感じのパチュリーです（え  
おまけのしおり用の絵でした。



結構昔に描いて某所でのみ乗せてた絵  
東方で本出すなら制服本だよね！とか言い出した頃に  
描いたものです。  
・・・今年の例大祭前くらいかなあ時期的にいうと

表紙こんなかんじでーみたいなかんじで描いた覚えが。。。



黒髪前ぱつんです

・・じゃなかつた輝夜です。

黒髪前ぱつんには

フレサーがよく似合う！

つと勝手に思ってます（え

己のページから諸々の都合で影が

ついてないです（あ



うどんげです 多分（あ  
セーラー服系はこう全体的に白いというか  
清楚な感じが出せるのがいいなあと思うんですね  
紺もありますけどね！（あ

■ここからは早苗さんのちょっとだけ性的な漫画です(え  
当初この同人誌は一般向け予定で  
色々制服の話とか明るいイラストを収録する予定  
だったのですが  
色々とあって 成人向け本になりました(えー



見事に当たって碎け散った…

だから今日  
勇気を出して思い切って  
早苗さんを放課後呼び出し 告白をした…  
その結果というと…

可愛くて優しくて誰にでも笑顔で接してくれる  
クラスでも男女問わず人気のある  
同じクラスの女の子『東風谷早苗』さん  
そんな彼女に密かに憧れている男子はやはり多く  
僕もそのうちの一人だ

「まだ付き合うとかそういうのは  
考えられない」  
…つまりは何時の日にか  
僕以外の男に告白されたとき  
付き合う日がくるかも知れないと  
そういうことなのか…！

※当たり前

早苗さんの全てが  
どここの馬の骨とも知れない  
他の男の手によつて…  
嫌だ…  
そんなの嫌だ…つ！

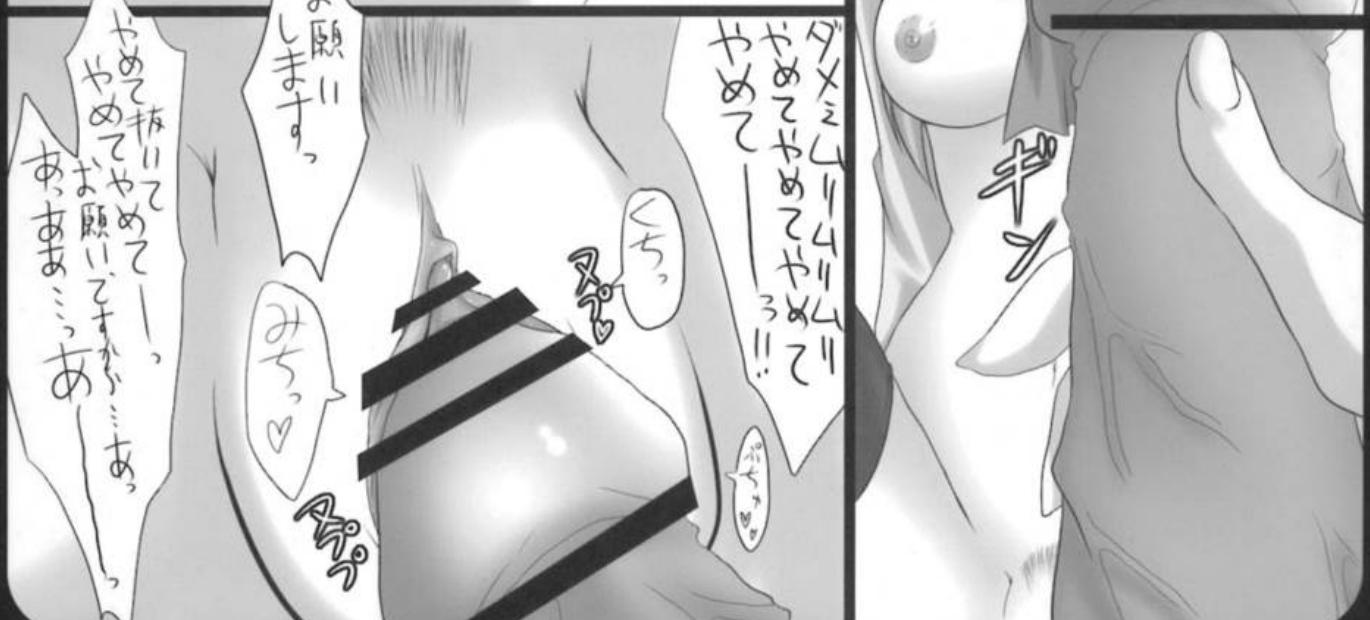
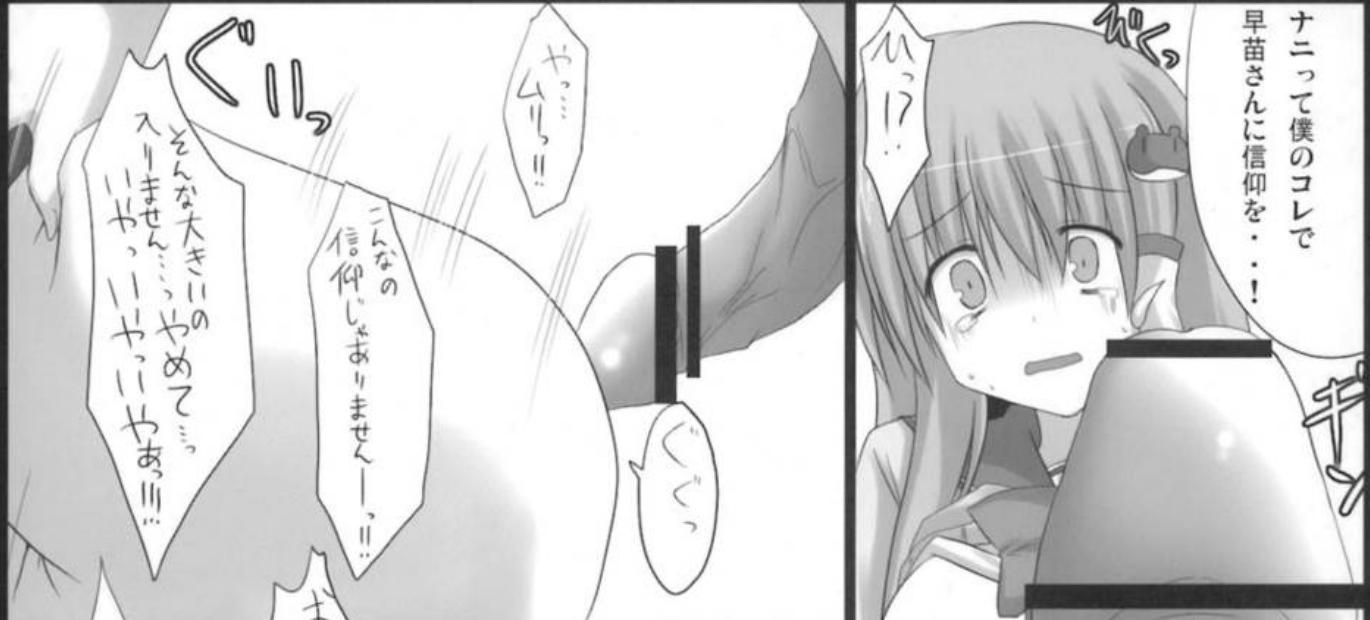








## I LOVE SEIFUKU





ははは・・・  
他の奴に奪われる前に  
早苗さんの処女をこの僕が・・・っ！  
ああ・・夢みたいだ・・・！







こんにちは、永深ゆうとかいう人です。  
制服とかブレザーとか素晴らしい本に  
ゲストでお呼ばれてしまいやした。  
でなわけで衣玖さんにブレザーを。  
そーいちさんがえろくていいよ！  
と言ったのでなんとかイケナイ絵に…

\*てんこ可愛いよてんこ!  
セーラーてんこも可愛いよ!  
てんこの服ならご飯もすすむね。  
くんかくんか。

\*どうも、 ゆっきーこと変態です。  
東方のオケアレンジとかやつります。  
絵とか描けません。 …あれ?

\*普段は見る側なのですが、  
ガチムチなそーいちお兄さんか  
ガチでムチな僕に無茶振りをして  
くれたので、 デッサンから始めて  
頑張って描きました。  
てんこに見えたなら幸せです。  
制服大好き!

\*セーラー服\*  
比那名居天女

# I LOVE SEIFUKU

「…で、これは何ですか？」

戻ってきた神社で私を迎えてくれたのは、懐かしい服を広げている神奈子様だった。

「御託はいい、こいつを着るんだ」

「意味わかりません」

というかどこから手に入ってきたのだろうか？セーラー服なんて。

「折角苦労して手に入ってきたのに…」

「信仰心集める事に労力を使ってくださいよ」

頭を軽く抑えつつ、部屋へと向かう。

「きてーよー！」

「着ません」

食前

「じゃあこれは？さっきと違う服だよー！」

「着ません。といいますか分類は同じセーラー服じゃないですか」

食後

「じゃあこれならどうだ！」

「着ません。一体何着持ってるんですか…」

風呂上り

「ふつふつふ、流石に着替えが少ししかなければ」

「吹き飛ばしますよ？いい加減にしないと」

「ほー、出来るものならやってみなさい！」

「エア〇ガ」

「らめえー！」

部屋に戻った私を迎えてくれたのは、セーラー服だった

「またさつきと微妙に違う服だし…」

こんなもの何着も用意して…と軽い頭痛に襲われる。

しかしながらこんなものを、なんとなく自分の前に当てる。

「…」

ここは私の部屋。誰にも見られることは無い。

まあ、ちょっとくらいならセーラー服に袖を通す。

思えばスカートなんて履くのは何年ぶりだろ？

ここ数年はずっと巫女装束、女の子らしい格好する事もなかつたし…

私だって女子高生みたいな生活をしてみたかったという思いも…少しある。

スカートのファスナーを締め、リボンを巻く。うまく巻けなかつたのでもう一度巻きなおす。

…うん、こんな感じかな？鏡の前でもう一度確認。

風祝である事に不満などあるはずが無い。むしろそういう自分を全く想像できない。

特別な力なんか何もなく、ただの普通の人間の女の子だったとしたらどんな生活をしてたのだろう？

友達と一緒に学校行って、皆とどこかへ遊びに行ったり、好きな人が出来たり…

「考えるだけ、無意味ね」

一人・き、鏡を見る。

鏡に映った自分。もしかしたら外の世界でなつていたかもしれない自分。

鏡の中の私は幻想。

なる事の無かつた自分をみてもどうしようもないんだけどね…

「でもまあ」

現実の自分だろ？と幻想の自分だろ？と可愛いものは嫌いじゃない。

慣れないスカート、化学繊維の滑らかな服、胸元のリボン。

スカートの裾を軽く持ちつつ一回転。

鏡に映る自分を見て、何故か笑いが出てきてしまった。

「ね、だから言つたでしょ？誰も見てなければ絶対着るつて」

「流石諷諭子。亞みないわね」

はじめましてこんにちわ。

ゲストにお招きされました基本的にノーマルシャーター、雨苗正樹です。

早苗さん学制服装との事で簡素ではありますか書かせて頂きました。

あれだ、基本的に絵を描かない人間なので文章だけだと薄く浮く(あ

東方キャラに学生服着せようという発想はなかった。

さすがはそーさんだなw

機会があればまた是非読って下さい。

## ■お疲れさまでした

ここまで読んでいただきまして有難うございます。

東方は知り合いと合体でスペース取った時くらいしか  
本は作らなかつたのですが  
今回でその知り合いが東方ジャンルを撤退するということで  
サークル「推定部員」として出す東方本はこれで最後となります。

といつても過去にそんなに作ったわけでもないので  
別にどうということでもないんですけどね!(笑)

それではまたどこかでお会いできる機会がありましたら  
その時はよろしくお願ひします。

## ■ I LOVE SEIFUKU

■発行 推定部員

■発行日 2009/10/11 (東方紅樓夢5)

■URL <http://suitei.blog63.fc2.com/>

■連絡先 suitei@hotmail.co.jp

■印刷 ねこのしっぽ様

※18歳未満の方の閲覧・購入を固く禁じております。



推定部員